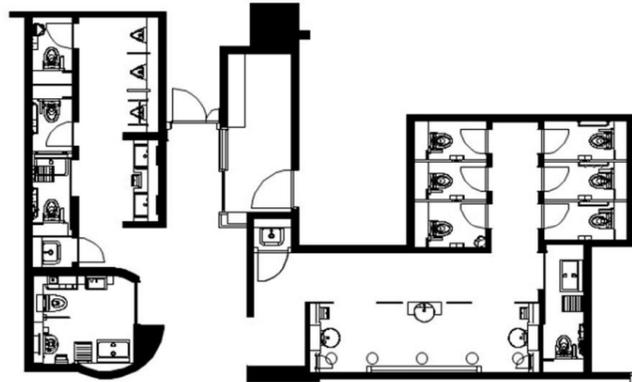


外観



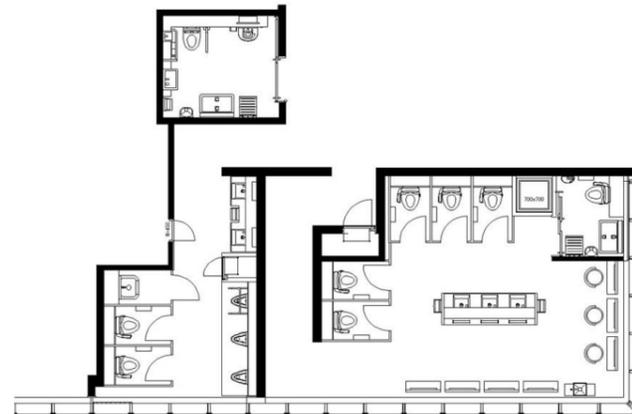
博多駅を中心とした都市空間との景観の調和に配慮した外装デザイン。ガラスカーテンウォールのバックパネルを傾斜させることで博多織をイメージした市松模様を表現している。日没後には演出照明により光の外装をまとい、商業施設としての賑わいを演出している。

B1F 図面



B1Fトイレのコンセプトは「おしゃれ泥棒」。映画のシーンを想起させるモトーンを基調とした内装仕上げ。コンパクトな空間ながら、トイレ内の通路部分までも有効活用し、機能的な空間を構成している。

8F 図面



8F 女性トイレ 全体



タイルで装飾されたアイランド型の洗面カウンターを設置。カウンター上の鏡は個別鏡とし、鏡奥の空間を見渡せる。防犯配慮として、全フロアで、大便器ブースの間仕切り壁は天井まで立ち上げている。

B1F 女性トイレ 洗面コーナー



大便器ブースへと続く通路の横には姿見を設置し、列に並びながら身だしなみの確認ができるプレパウダーコーナーとした。パウダーコーナーに設置した荷物置き台は、好きな位置に移動させて利用できる。

B1F 女性トイレ 洗面コーナー



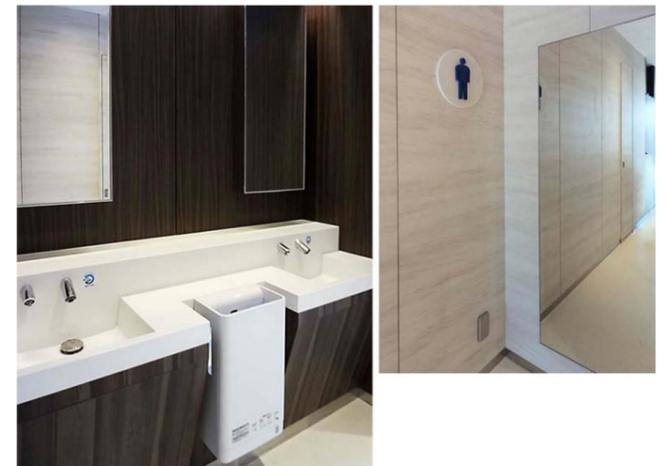
2種類のタイプの違う洗面器を独立して設置。器具自体をインテリアアクセントとすることで、空間に変化と楽しさを演出している。

8F 女性トイレ 洗面コーナー



水濡れを心配せずに化粧ポーチなどの小物を置くことができるようツインデッキカウンターを採用。パウダーコーナーは窓辺に設け、自然光により明るくメイクしやすい環境となっている。

8F 男性トイレ



1つの空間内に2種の木目カラーを採用した斬新な空間演出。カウンター下は、床面に向けて奥へ切り欠き、靴があたりにくい様配慮している。入口には、全身の身繕いができるように姿見を設置している。

B1F 女性トイレ 大便器ブース



使用頻度が高いことから、特に清掃性に配慮し、給水ホースなどが露出せず、掃除がしやすい壁掛大便器を設置。

B1F 多機能トイレ



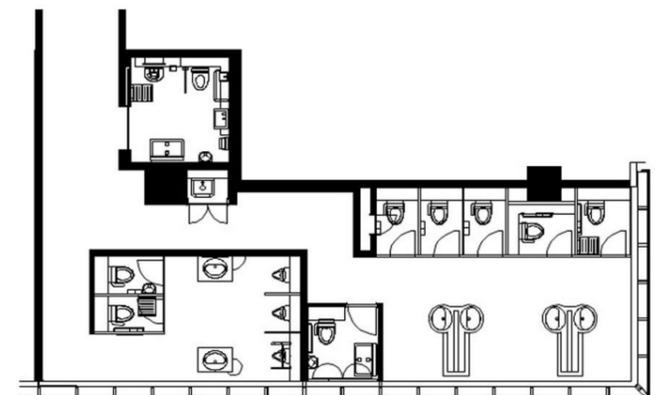
車いす使用者やオストメイトなどさまざまなユーザーに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレパックを採用。ベビーシートやフィッティングボードも設置し、お子様連れにも配慮している。

8F 男性トイレ



大きな窓に面した開放的な小便器コーナー。外の景色を眺めながら気分をリフレッシュすることができる。大便器は、メンテナンス性を考慮して壁掛大便器を採用。

9F 図面



9Fトイレのコンセプトは、「麗しのサブリナ」。当時のおしゃれなパリの雰囲気や現代風にアレンジして空間デザインに反映している。

9F 女性トイレ 全体



目を奪う化粧鏡は、鏡周囲に設置した照明の効果で顔映りが良い。手洗いから乾燥までの動作をボウル内で完結できるオートボウルを採用。カウンターや床への水垂れを減らし、きれいな洗面空間を保つことができる。

9F 女性トイレ 大便器ブース



大便器は清掃性に配慮し壁掛大便器を採用。きめ細やかな女性配慮として、ストッキングの履き替えなどに便利なフィッティングボードを設置している。

10F 女性トイレ パウダーコーナー



シッティングタイプとスタンディングタイプ、2種類のパウダーコーナーを設置。淡い光を大切に照明計画が、優美でやわらかな印象を醸し出している。

10F 女性トイレ 大便器ブース



ブースの中に、化粧鏡を設置。入退室時に身だしなみチェックができる。

9F 男性トイレ 全体



小便器の間に全身をカバーする間仕切りを設け、個室感を高めた小便器コーナー。アイランド型に設置した洗面器が、空間にインパクトあるまとまりを与えている。

9F 男性トイレ 小便器コーナー



小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。ジアテクト機能搭載で、尿石の付着やにおいの発生を抑制できる。プライバシーに配慮し、小便器の間には全身をカバーする仕切りを設置。

10F 男性トイレ 洗面コーナー



洗面器とクリーンドライは、独立して設置。さらに、窓の外の景観を損なうことのないよう、化粧鏡をコンパクトにし、開放的な空間を演出している。

10F 男性トイレ 小便器コーナー



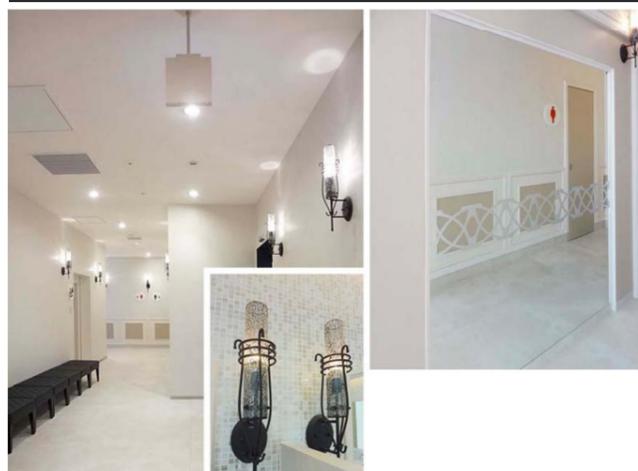
自動洗浄小便器は、ラインニングを独立させて設置。窓に面していることで、開放感を味わいながら、利用することができる。

10F 図面



10Fトイレのコンセプトは、ヘッパーンの代表作「ローマの休日」。空間の随所に、可憐で上品な女性らしいデザインが施されている。

10F 男女トイレ入口



トイレへと続く通路から、気品にあふれた照明・内装にこだわり、ワクワクさせるトイレ空間を演出している。

建築概要

名称 KITTE博多
 所在地 福岡県福岡市博多区博多駅中央街9番1号
 施主 日本郵便株式会社
 設計監理 <建築>日本郵政株式会社一級建築士事務所
 (設計監理協力:株式会社三菱地所設計)
 <トイレ> 有限会社設計事務所 Gondra (B1F・9F・10F)
 施工 株式会社竹中工務店九州支店
 竣工年月 2016年3月

水まわりの特長

<建物の特長>
 KITTE博多はJR博多駅に隣接した旧博多郵便局の建物を解体した跡地に建つ、日本郵政グループとして初の全館商業施設である。「いい休憩をしよう。」をコンセプトに九州初出店の博多マルイや60を超える飲食店を中心とした構成により、博多駅前の新たなランドマークとして賑わいを見せている。
 KITTE博多は、福岡市の新しいまちづくり制度である「福岡市都心部機能更新誘導方策」の適用を受けて計画した第一号プロジェクトであり、歩行者ネットワーク等を整備する事で駅前広場の賑わいを周辺街区へ波及させている。また敷地内には災害時の帰宅困難者対策として一時避難可能な空間及び防災備蓄倉庫を整備し、災害に強い安心・安全の街づくりに貢献している。

<水まわりの特長>
 すべての利用者が使いやすく、おしゃれで普遍性のあるデザイン。特に飲食フロア(B1F, 9F, 10F)のトイレのデザインでイメージしたのはオードリー・ヘッパーン。品があってキュートでエレガント、そして、幅広い人々から高い評価を集めた彼女がもつ「普遍性」と「おしゃれ」のイメージをデザインの中に取り込んでいる。また設備機器は使用頻度が高いことを考慮し、清掃性・メンテナンス性を特に重視して選定を行った。機能性と快適性を両立させ魅力にあふれた、美しく非日常性のある空間を提供している。